

〈育てたい子供像〉

やさしい子
かしこい子
たくましい子

学校だより



令和2年度 6月号② 6月10日

6月も中旬を迎え、夏を思わせるような日が続いています。気温の上昇とともに校庭の木々は緑色に美しく萌え、陽ざしを一杯に浴びて日に日にその緑色を深めています。

さて、学校が再開し、新しい生活様式での1学期も、折り返し地点が見えてきました。入学当初はあどけない様子が見られた1年生もすっかり学校生活に慣れ、挙手をして考えを述べたり、友達の考えに耳を傾けたりすることができるようになってきました。どの学年においても、落ち着いて学習に取り組ませ、よく理解できていない内容を確実に身に付けさせたいと考えます。また、これから学習する内容についてもしっかりと取り組ませたいと考えています。



ちょっといい話～「折り合いをつける」～

いつも通りの日課になり、いつもの日常が戻ってきたと同時に、友達といさかいを起こし、怒ったり泣いたりする子供たちの姿が見られるようになりました。そんな中で、先生に原因や理由を聞いてもらいながら、自分の行いを振り返り、仲直りをしようとする「折り合いをつける」姿を見ると素晴らしいなあと思います。

「折り合いをつける」というのは、同じ意味をもつ「妥協」という言葉にはない、相手への思いやりや温かみを感じられます。自分と相手との関わりの中で、自分が抱えるさまざまな感情の妥協点を見付け「気持ちを整理」し、「心のバランス」をとり、自分の感情をコントロールしながら、また相手と関わっていかうとする子供たちの心の動きが感じられたときは、認めてあげましょう。「折り合い」がつけられるよう見守ることが私たち大人の大事な役割と考えます。

～始業式で話せなかった式辞～

先日の朝の集会で、新型コロナウイルス感染防止対策のため、時短で行った始業式で話せなかった式辞をお話しました。以下の通りです。目指す子供像に近付けるよう支援していきます。

今年度、桃李小学校の子供は、33名の1年生を加えて、180名になりました。

明るく元気な皆さんと先生方と力を合わせ、「明日もいきいたい」と思う楽しい桃李小学校をつくっていきましょう。

・桃李小学校には、目標とする三つの子どもの姿があります。

一つ目は、「やさしい子」です。

☆友達に優しくすると、友達はうれしくなり、ありがとうと言ってくれます。逆に、友達から優しくされると、うれしくなって、また、ありがとうと言いたくなります。「やさしい心」をもつと友達と仲良くなれます。

とても大事な心です。

二つ目は、「かしこい子」です。

☆みなさんの頭の中には「脳」が入っています。「脳」は、コンピュータよりもずっと素晴らしいものです。勉強をして「脳」を使えば使うほど、人はどんどん賢くなります。賢くなると、いろんな事が出来たり、分かたりします。そして、勉強することが面白くなります。ぜひそうなれるよう、進んで学んでほしいです。

三つ目は、「たくましい子」です。

☆目標を立てても、途中でやめてしまっても、目標を達成することはできません。どんなに小さなことでも、最後まであきらめず、やりぬくことが大切です。そのためには、強い心と、健康な体が必要です。心も体もたくましい元気な子供になりましょう。

この三つの目標で、まず、自分でいちばん、がんばれそうな姿を思い描き、その姿に近付けるよう、一学期ががんばってみましょう。桃李小学校の先生方は、皆さんのことを第一に考えています。困ったことがあったときには、先生方にお話してください。一学期の終わりには、みなさんが、どのくらい三つの姿に近づいているかを楽しみにしています。